

◎ 木造公共施設紹介

(別紙様式1)

施設名	南牧村 障害者憩いの家
構造	木造平屋建
延床面積	276.08 m ²
木材使用量	78.21 m ³
主な樹種	カラマツ、スギ
施設概要	主な利用者である障害者とその家族だけでなく、健常者とのふれあいや交流ができるような事業を展開し、多くの住民が訪れる開放された施設です。カラマツは2月に野辺山三沢の村有林から切りだしました。 90%以上の木材は、県産材（信州木材認証製品）を使用しており、梁・柱・フローリング、外壁等にはカラマツ、土台にはヒノキなどが使われています。また、カラマツは独特のヤニやねじれを防ぐ脱脂乾燥加工し、使用されています。

(写真)

